

今週のお祈り 降誕後第1主日特祷

全能の神よ、あなたは驚くべきみ業によりわたしたちをみかたちに似せて造られ、さらに驚くべきみ業により、み子イエス・キリストによって、その似姿を回復してくださいました。どうか、主が人性を取って、わたしたちの内に来られたように、わたしたちも主の神性にあずからせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 282

発行日
2025年
12月28日

クリスマスおめでとうございます。先週聖パウロ教会は149年目のクリスマス礼拝をお献げしました。イエスさまがいつも共にいてくださることを心に留めて過ごしましょう。来週1/4の日曜学校はお休みです。

今週の聖書 ヨハネによる福音書 1:1-14

1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。2 この言は、初めに神と共にあった。3-4 万物は言によって成った。言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に成ったものは、命であった。この命は人の光であった。5 光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった。6 一人の人が現れた。神から遣わされた者で、名をヨハネと言った。7 この人は証しのために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じる者となるためである。8 彼は光ではなく、光について証しをするために来た。9 まことの光があった。その光は世に来て、すべての人を照らすのである。10 言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。11 言は自分のところへ来たが、民は言を受け入れなかった。12 しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。13 この人々は、



聖書からのメッセージ 司祭 橋本克也

クリスマスおめでとうございます。神の子イエスキリストの誕生を信じて喜び迎える人々とは、神さまに愛される大切な尊い命を生きることです。「神さまの子」であるとは、イエスさまの言葉によって、愛と平和を信じて生きる生活を大切にするということです。わたしたちは、神さまを、「天のおとうさん」と親しく呼ぶことができます。また、神さまは、どんな時も、いつも一緒にわたしたちといてくださることがクリスマスにはみなさんに告げられています。

血によらず、肉の欲によらず、人の欲にもよらず、神によって生まれたのである。14 言は肉となって、私たちの間に宿った。私たちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。15 ヨハネは、この方について証しをし、大声で言った。『私の後から来られる方は、私にまさっている。私よりも先にいられたからです。』と私が言ったのは、この方のことである。16 私たちは皆、この方の満ち溢れる豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを与えられた。17 律法はモーセを通して与えられ、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。18 いまだかつて、神を見た者はいない。父の懐にいる独り子である神、この方が神に示されたのである。